

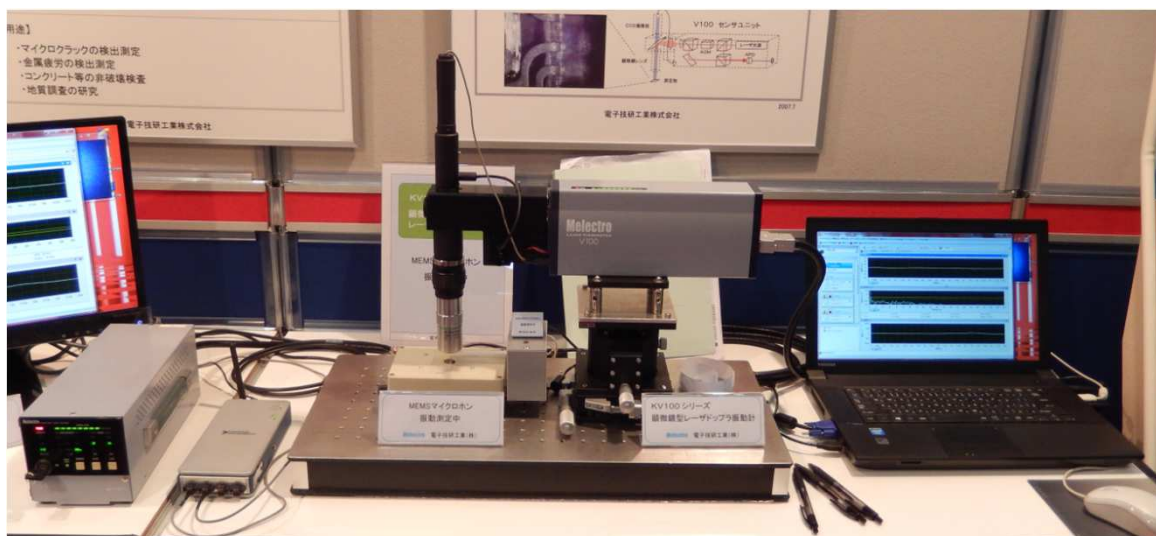
〔データ解析システム〕

レーザドップラ振動計とPCベースの汎用データ解析装置を組み合わせることにより、測定データの各種演算や周波数解析など、様々な振動解析システムを容易に構築することができます。

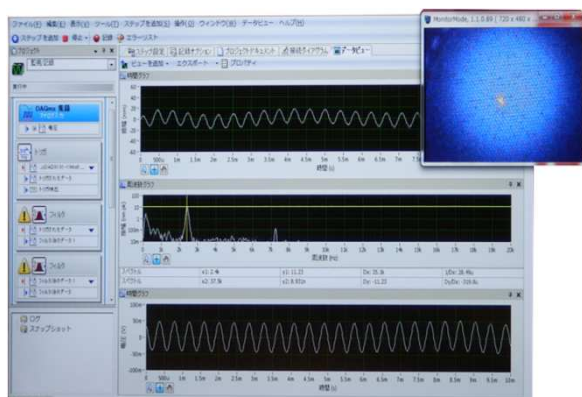
振動周波数やチャンネル数など、解析内容に応じてシステムを柔軟に組み替えることができます。

お客様にて信号処理手順を自由に指定することも可能です。

MEMSマクロホンの振動測定



PCを利用した振動解析システム例



データ解析画面例

測定システム構成例

顕微鏡型レーザドップラ振動計
KV100-S TYPE-D

対物レンズ 20×倍

XYZ微動ステージ

定盤

アナログ入力モジュール
チャンネル数: 4ch、入力電圧範囲: ±10V、
分解能16ビット、サンプリングレート: 1MS/s/ch

信号解析システム
時間波形、FFT解析、フィルタ、各種演算

PC